デーリー東北新聞社提供

デーリー東北
2022年（令和4年）12月13日（火曜日）（17）

八戸

ブルーカーボン 取り組みに理解

八工大で海洋学プログラム

八戸工業大は1日、同大メディアセンターで海洋学プログラム「海洋学の基礎と未来」の講義を行った。笹川平和財団海洋政策研究所の渡邉敦上席研究員が講演し、学生らが沿岸生態系の価値を持続して保全するブルーカーボンなどの取り組みについて学んだ。

ブルーカーボンなどの取り組みについて説明する渡邉敦上席研究員

同プログラムは、学生以外にも学習課程を提供する「履修証明プログラム」として実施。学生40人に加え、市民も受講した。

渡邉上席研究員は海を守りながら、経済や社会全体を持続的に発展させるブルーエコノミーを説明。洋野町特産のウニを肥育する増殖溝を利用した藻場の保全活動が、二酸化炭素（CO_2）を吸収するブルーカーボンに認められた例なども紹介した。

同日はこのほか、青森県立八戸工業高の生徒がブルーカーボンの計画について発表した。（藤村大地）

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。